



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

東

上場会社名 ネクストウェア株式会社 上場取引所
 コード番号 4814 URL <https://www.nextware.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)豊田 崇克
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 経理財務本部長 (氏名)渡邊 博和 (TEL)06-6281-9866
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,177	△15.8	△152	—	△145	—	△141	—
2023年3月期第2四半期	1,398	△7.4	△63	—	△25	—	△24	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △141百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△11.12	—
2023年3月期第2四半期	△1.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,641	1,349	82.2
2023年3月期	1,837	1,515	82.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,349百万円 2023年3月期 1,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	3.8	30	—	30	△17.0	20	71.6	1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	13,015,222株	2023年3月期	13,015,222株
2024年3月期2Q	308,719株	2023年3月期	308,719株
2024年3月期2Q	12,706,503株	2023年3月期2Q	12,706,503株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴い経済社会活動の正常化が進む中で、緩やかに回復しています。一方、先行きにつきましては、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが所属する情報サービス産業におきましては、競争上の優位性を確立するDX（デジタルトランスフォーメーション）関連の需要が堅調に継続するとともに、クラウドサービスの拡大により情報セキュリティの重要性が高まっております。

当社グループは、ソリューション事業において、急速に変化するデジタル社会に対応すべくAI・RPA・顔認証など新たなソリューションによる新規顧客の開拓を進めました。また、エンターテインメント事業においては、エンターテインメントと当社独自のDXソリューション技術の融合による新しいサービスの創出など、作品のエンターテインメント力・完成度を追求しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,177百万円（前年同四半期比15.8%減）、営業損失は152百万円（前年同四半期は63百万円の損失）、経常損失は145百万円（前年同四半期は25百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は141百万円（前年同四半期は24百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ソリューション事業

顔認証ソリューション・AI（人工知能）を中心としたスマートビジネス事業の受注は堅調に推移しており、入退室管理等のセキュリティ対応だけでなく、顔認証技術を活用した新しい店舗向け決済システムを開発し、お客様に利便性と安全性を提供することができました。店舗サービス業界における人材不足に対応したシステムとなっております。

また、製造業界などで培ったノウハウを活かし、AIと機械学習を駆使して、工場設備、プラント、公共施設などに設置されたDX機器や施設の異常や故障を未然に予知するソリューションの開発に取り組んでおります。

防災システムにおいては、最近の異常気象による災害への対応に焦点を当て、防災監視システムおよび道路監視システムの整備に積極的に取り組んできました。新たに収集した気象情報の二次利用を可能にする外部提供機能を整備し、他のシステムとの連携をスムーズに実現できるようになりました。

当第2四半期連結累計期間は、コロナ禍で需要のあった検温による入退室管理ソリューションの受注が減少し、前期にマイナンバーカード対応の大型納品があった反動により減収となり、また、営業活動の拡大や人材の採用・育成に伴い販管費が増加したことなどから、ソリューション事業の売上高は1,033百万円（前年同四半期比17.3%減）となり、セグメント損失は115百万円（前年同四半期は28百万円の損失）となりました。

② エンターテインメント事業

連結子会社の株式会社OSK日本歌劇団は、演劇事業では7月に万博の機運醸成を目的にした「レビューRoad to 2025!!」公演を大阪府・大阪市・大阪商工会議所・大阪文化芸術事業実行委員会と共催しました。8月には松本清張賞受賞作「へば侍～西南戦争物語～」を初めて舞台化し盛況を博しました。9月にはインバウンド需要回復の機を捉え訪日外国人向け公演「The Tale of Genji」を上演しました。コンテンツ配信事業ではOSK Revue Cafè in Brooklyn Parlorの舞台両サイドにLEDパネルを新設し、より立体感の増す配信専用劇場を設計することができました。また、10月2日放送開始されたOSK出身の笠置シズ子さんをモデルにしたNHK連続テレビ小説「ブギウギ」を広く告知するために、精力的にテレビ番組へ出演し、各報道機関への取材にも応じました。

当第2四半期連結累計期間は、制作力の向上や新しいファンの獲得を目指して他団体との共催公演の制作や出演依頼に注力したため、高採算の自主公演の上演数が一時的に減少し広告宣伝費が増加しましたが、当劇団の知名度向上に伴い協賛・広告収入が増加したことなどから、エンターテインメント事業の売上高は143百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント損失は35百万円（前年同四半期は34百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,641百万円となり、前連結会計年度末に比べて196百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が33百万円、貯蔵品が24百万円、仕掛品が10百万円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が204百万円、流動資産その他が69百万円それぞれ減少したことによります。

負債合計は292百万円となり、前連結会計年度末に比べて29百万円減少しました。これは主として、流動負債その他が60百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が54百万円、長期借入金が23百万円それぞれ減少したことによります。

純資産合計は1,349百万円となり、前連結会計年度末に比べて166百万円減少しました。これは、利益剰余金が166百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,623	673,371
受取手形、売掛金及び契約資産	518,562	313,956
商品	6,552	14,040
仕掛品	17,712	28,369
貯蔵品	-	24,027
その他	188,601	118,890
流動資産合計	1,371,054	1,172,655
固定資産		
有形固定資産	100,903	102,886
無形固定資産		
のれん	19,891	18,055
その他	24,274	22,202
無形固定資産合計	44,166	40,257
投資その他の資産	321,777	325,913
固定資産合計	466,847	469,057
資産合計	1,837,901	1,641,713
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,716	67,102
1年内返済予定の長期借入金	15,846	6,600
未払法人税等	10,891	10,478
その他	128,482	188,745
流動負債合計	276,937	272,926
固定負債		
長期借入金	28,550	5,250
退職給付に係る負債	7,673	7,673
資産除去債務	5,510	5,511
その他	3,478	1,263
固定負債合計	45,213	19,698
負債合計	322,150	292,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,965	1,310,965
資本剰余金	229,198	229,198
利益剰余金	80,212	△86,450
自己株式	△104,625	△104,625
株主資本合計	1,515,750	1,349,087
純資産合計	1,515,750	1,349,087
負債純資産合計	1,837,901	1,641,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,398,285	1,177,187
売上原価	1,057,440	895,949
売上総利益	340,845	281,238
販売費及び一般管理費	404,214	433,348
営業損失(△)	△63,369	△152,109
営業外収益		
受取利息	134	117
受取配当金	465	240
業務受託収入	15,900	7,450
助成金収入	23,625	-
その他	470	1,462
営業外収益合計	40,595	9,270
営業外費用		
支払利息	561	469
支払手数料	660	-
為替差損	83	1,824
その他	989	305
営業外費用合計	2,295	2,599
経常損失(△)	△25,068	△145,438
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,068	△145,438
法人税、住民税及び事業税	3,571	3,009
法人税等調整額	△4,206	△7,198
法人税等合計	△635	△4,188
四半期純損失(△)	△24,433	△141,250
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,433	△141,250

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△24,433	△141,250
四半期包括利益	△24,433	△141,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,433	△141,250

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,248,912	149,373	1,398,285	—	1,398,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,582	10,582	△10,582	—
計	1,248,912	159,956	1,408,868	△10,582	1,398,285
セグメント損失(△)	△28,928	△34,440	△63,369	—	△63,369

(注) セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,033,273	143,914	1,177,187	—	1,177,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,254	12,678	15,932	△15,932	—
計	1,036,527	156,592	1,193,120	△15,932	1,177,187
セグメント損失(△)	△115,914	△35,037	△150,952	△1,157	△152,109

(注) セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。